

審議会の概要	
名 称	第4回向日市地域福祉計画策定推進委員会
日 時	令和3年3月16日（火）午前10時から11時00分
場 所	向日市福祉会館 大会議室
参 加 者	（委員）佐生、石田、安田、木下、平井、高畠、佐野、山本 籠谷、上崎、岡本
	（幹事）小賀野、川本、柴田、岡本、小畑、松山、長谷川
	（事務局）大山、松下
議 長	拾井（委員長）
傍 聴 人	0人
議 事	
1 開 会	
2	
（1） 会議の公開について	・ 公開に関する要綱第2条の規定により公開会議となる。会議録を用意し公開する事となる。
（2） 向日市地域福祉計画最終案とパブリックコメントの結果について	・ 最終案について、前回の素案から最終案までに変更になった点を説明。 ・ 変更点は、第1期向日市自殺対策計画において、相談窓口等に24時間相談対応を行う窓口やSNSを通じて相談できる窓口の掲載を追加した点と、自死遺族等の遺された人への支援に関して、民間団体等の相談窓口を掲載したことで、窓口の周知を通じ、相談先がすぐ分かるように広報活動を進める取り組みについて反映させたことを説明。 ・ パブリックコメントの結果については、計画案に対する意見は寄せられなかったことを報告。 ・ 向日市地域福祉計画の策定については、内容に異議なく最終案で承認となった。
【主な意見】	・ 最終案については、イラストを前よりもたくさん入れており非常に読みやすい。イラストを見ながら読んでいけることは非常に良いと思う。 ・ 自殺対策計画については、相談窓口がたくさんあり、分かりにくいですが、計画書上はこの形式となっていることは理解できるので、計画書とは別に、チラシ等で相談窓口が分かりやすく周知するなど工夫してほしいと思う。

- 今回の出来上がりの見た目は、非常に見やすい内容となっている。表のちょっとした網掛け等、様々なところで工夫をされている。それがパブリックコメントの意見を言わないでも良い、という結果につながっていると思う。
- 前回の委員会後に、高齢の方から自殺を考えているとの相談があり、実際その時に相談先を探すのが難しかったので、ぱっと飛びつける番号があればよかったと思う。計画書としては今の形でよいと思うが、実際に相談の方が来た際に、関係機関に繋げやすいものと考えてほしい。
- 本当に困っている人は電話となるが、電話は 24 時間でない場合もある。話すことが憚られる人は文章で書く方がよいこともあるので、今後 FAX やアドレス、ホームページなどを記載できるところは追加で書いてもらえればと思う。色々な選択肢があればよいと思う。
- コロナ禍において令和 2 年あたりから若い女性の自殺が増えてきたと最近メディアに出てきている。最新のデータを入れることは策定期限の関係で難しいが、計画を推進するにあたり、そうした直近の状況や向日市の実情を考慮し、計画を進捗していったらどうか。
- ゲートキーパーがどういう教育をするのか気になっており、時間があれば受けたいと思っている。思い悩む人の気持ちが少しでも理解できるのではないかと考えている。
- 新聞にパワハラによる自殺の記載があった。今まで関心がなくて気が付かなかったのかもしれないが、この会議に出席して色々な情報を得られたことで興味を抱くようになった。まずは、この計画を知ってもらうことが大切だと感じた。
- 子育てコンシェルジュのように、例えば困りごとコンシェルジュとして、窓口が一本化されると助けることができる人が多くなると思う。計画を広める、知らせるところはなかなか時間がかかるので、一番困っている人に届けること、ここに電話すると専門の相談先へつないでもらえるという窓口が 1 つあれば安心感があると思う。
- 先日、トイレに相談窓口の連絡先が書いた名刺のようなものが置いてあった。何気なく誰でも立ち寄るところにそういうものがあると印象に残ると感じ

た。こうした PR を参考にして、上手く周知していけばよいと思う。

- ・地域福祉はボランティアということだが、福祉ビジネスのようなものがあるのもよいと思う。仕組みができれば新たな雇用を生み出し、地域の人材はあると思う。退職後ゲートキーパーをやりたい方等の人材を生かしていけば、金銭的なものを得ながら社会に貢献していける。そういうものをもっと広げていけると思う。

(3) その他

- ・今後のスケジュールについて、事務局から説明。
- ・本日も承認いただいた最終案について、令和3年3月中に策定し、ホームページ等への掲載することを説明。